

事業所名 重症児デイNEST（児童発達支援事業）

## 支援プログラム

作成日

令和7年

1月

9日

法人（事業所）理念	成長に合わせた居場所づくり									
支援方針	一人ひとりの気持ちに寄り添った丁寧なかかわり 一人ひとりの心身の状況に合わせた支援を行い、安心して楽しく過ごせる場所を提供する									
営業時間	月～土	10時	0分	から	18時	0分まで	休業日	日・年末年始（12/29～1/3）	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	日常生活に必要なバイタルチェックや投薬その他必要な管理・記録を行う。また医療機関との連絡調整及び協力医療機関を通じて健康保持のための適切な支援を行う。利用者一人ひとりの状況に応じて適切な技術をもって食事・整容・着脱・入浴・排泄等生活全般にわたる支援を行う。								
	運動・感覚	感覚に働きかける感触遊びやフラワーアレンジメント、リトミックやミュージック・ケアを通して、五感への刺激を促す。身体機能維持を目的に個別リハビリやストレッチを行い機能低下を予防できるようにする。毎日ふれあい体操やマッサージを行うことでリラックスして過ごせるようにする								
	認知・行動	毎日行う昼の会や帰りのダンスをルーティン化させていく事で、個々の理解と見通しを持てるように促していく。支援に入る際は必ず声掛けを行い、物事と行動が繋がっていくように繰り返し支援していく。								
	言語コミュニケーション	個々の状態や発達から生じる表情・動作・発声の仕方から自分の気持ちを表現出来るように促していく。また、支援者表情・動作・発声から気持ちを読み取り、代弁していく事で気持ちの成長を促す。								
	人間関係社会性	他の利用児との活動を通したふれあいや多職種の支援者の声掛けや関わりを通して、家族以外の人との信頼関係を構築出来るように支援していく。戸外へのお出かけを通して、新たな体験や経験を増やしていく。								
家族支援	家族イベント（苗植え会・運動会・花火大会・収穫会・活動参観）を実施 日頃から相談しやすい環境の構築を行う				移行支援		就学に向けて学校機関と連携（情報共有・情報交換など）			
地域支援・地域連携	畑のイベントを社会福祉協議会や地域の保育園と合同で行っている 利用児とともに収穫した野菜を使用したTSUBAME食堂（毎月第4木曜日）を行い地域の皆様に提供 利用児を担当する相談員と連携（情報共有・情報交換）				職員の質の向上		毎日の運営会議での情報共有 毎月オンライン研修を実施			
主な行事等	お花見・進級式・母の日・父の日制作・運動会・遠足（水族館）・プール（夏季）・夏祭り・避難訓練・遠足（動物園）・ハロウィンイベント・音楽鑑賞会・七五三詣り・活動参観・クリスマス会・年賀状制作・もちつき・遠足（いちご狩り） ※毎月お誕生日会・カレンダー制作を実施、年3回美容師さんによるヘアカットを実施（無料）									